

平成30年6月5日

消費生活用製品の重大製品事故に係る公表について

消費生活用製品安全法第35条第1項の規定に基づき報告のあった重大製品事故について、以下のとおり公表します。

○特記事項あり

電気こんろ、電気ストーブ（カーボンヒーター）に関する事故（リコール対象製品）について

（詳細は次頁以降参照。）

1. ガス機器・石油機器に関する事故 2件  
（うちガス栓（LPガス用）1件、ガスこんろ（都市ガス用）1件）
2. ガス機器・石油機器以外の製品に関する事故であって、  
製品起因が疑われる事故 6件  
（うちシュレッダー1件、電気こんろ1件、エアコン（室外機）1件、  
電気掃除機（充電式）1件、電気ストーブ（カーボンヒーター）1件、  
照明器具1件）
3. ガス機器・石油機器以外の製品に関する事故であって、  
製品起因か否かが特定できていない事故 4件  
（うちリチウム電池内蔵充電器2件、配線器具（コードリール）1件、  
投げ込み式湯沸器1件）
4. 製品起因による事故ではないと考えられ、今後、製品事故調査判定合同会議（※）  
において、審議を予定している案件  
該当案件なし

1. ～ 4. の詳細は別紙のとおりです。

※正式名称は「消費者安全調査委員会製品事故情報専門調査会及び消費経済審議会  
製品安全部会製品事故判定第三者委員会合同会議」という。

5. 留意事項

これらは消費生活用製品安全法第35条第1項の規定に基づく報告内容の概要であり、現時点において、調査等により事実関係が確認されたものではなく、事故原因等に関し、消費者庁として評価を行ったものではありません。

（管理番号：A201700233を除く。）

本公表内容については、速報段階のものであり、今後の追加情報、事故調査の進展等により、変更又は削除される可能性があります。

## 6. 特記事項

### (1) 富士工業株式会社が製造した電気こんろについて（管理番号：A201800102）

※組み込み先のキッチンメーカーは不明

#### ① 事故事象について

事務所で富士工業株式会社（法人番号：8021001013733）が製造した電気こんろの上に置いていた可燃物及び周辺を焼損する火災が発生しました。

当該事故の原因は、現在、調査中ですが、身体等が当該製品のつまみに触れてスイッチが入り、当該製品の上に置かれていた可燃物などが燃えたものと考えられます。

#### ② 再発防止策について

ミニキッチン等に組み込まれた電気こんろで、スイッチ部のつまみが飛び出ている形状のものについては、身体や荷物が知らないうちにつまみに触れ、スイッチが入ってしまい、火災に至る事故が相次いで発生しています。

このため、同社を含む電気こんろメーカー及びキッチンユニットメーカー13社により「小形キッチンユニット用電気こんろ協議会」が設立され、2007年（平成19年）7月3日から新聞社告及び新聞折り込みチラシの配布を行うとともに、各地の消防局に協力要請を行う等、無償改修（スイッチ部のつまみにカバーを付ける）を実施しています（現在11社が継続実施。）。

#### ③ 対象製品

対象製品の機種・型式及び各事業者名、問合せ先等は、別添のとおりです。

#### 【リコール実施状況】

2007年（平成19年）7月3日からリコール（無償改修）を実施

##### 改修対象台数、改修率

一口電気こんろ（今般事故の型式FH-31Bを含む。）

改修対象台数 530, 401台（全社合計）

改修率 96.6%（2018年4月30日時点）

上面操作一口電気こんろ

改修対象台数 60, 969台（全社合計）

改修率 74.8%（2018年4月30日時点）

複数口電気こんろ

改修対象台数 147, 700台（全社合計）

改修率 70.1%（2018年4月30日時点）

＜リコール対象製品での事故件数＞

当該事故（管理番号：A201800102）発生以前の、対象製品におけるリコール対象の内容による2010年度以降の事故の件数は、次のとおりです。これらは、消費生活用製品安全法第35条第1項の規定に基づき報告を受けたものです。

年度	事故件数	被害状況	年度	事故件数	被害状況
2017年度	2	火災	2013年度	2	火災
2016年度	0	—	2012年度	0	—
2015年度	1	火災	2011年度	1	火災
2014年度	4	火災	2010年度	3	火災

＜対象製品の外観及び確認方法＞

スイッチ部のつまみを御確認ください。



（写真はFH-31B）



改修前：カバー無し



改修後：カバー付き

- 「メーカー名」及び「品番」については、扉の内側やスイッチなどを御確認ください。
- 「品番」が表示されていない場合は、「メーカー名」又は「スイッチ部の形状」を御確認の上、下記問合せ先まで御連絡ください。
- 改修対象の電気こんろは、スイッチ部のつまみが飛び出ているタイプになります。

#### ④使用者への注意喚起

電気こんろの上や周辺に可燃物を置くことを避けていただくとともに、電気こんろのスイッチ部のつまみにカバーのない製品をお使いで、まだ当該つまみにカバーを付ける改修を受けていない方は、速やかに下記問合せ先まで御連絡ください。

使用者の方々及び対象製品を設置するアパート等を所有又は管理されている方々におかれては、事業者が行う訪問改修に御協力いただくようお願いいたします。

#### 【問合せ先】

富士工業株式会社

電話番号：0120-500-621又は0120-500-598

受付時間：9時～17時30分（土・日・祝日を除く。）

ウェブサイト：[http://www.fjic.co.jp/recall/gas\\_k01.html](http://www.fjic.co.jp/recall/gas_k01.html)

小形キッチンユニット用電気こんろ協議会

電話番号：0120-355-915

受付時間：9時～17時（土・日・祝日を除く。）

ウェブサイト：<http://www.denki-konro.jp/>

#### （参考）

消費者庁では、2014年（平成26年）6月11日に「お持ちではありませんか？リコールが行われている台所用機器」として、リコールが行われている電気こんろ、電子レンジ、電気冷蔵庫、食器洗い乾燥機、IH調理器、電気ケトルで火災等が発生した14製品について、リコール対象機種・型式を提示し、発煙・発火のおそれがあるとして注意を呼び掛けています。

ウェブサイト：[http://www.caa.go.jp/safety/pdf/140611kouhyou\\_1.pdf](http://www.caa.go.jp/safety/pdf/140611kouhyou_1.pdf)

# 火災事故防止に向けて 改修のお願い

1977年から2004年までに製造したキッチンユニット等で使用の電気こまろを探しています

身体や物が接触し、意図せずスイッチが「入」となる可能性がある構造であったために、電気こまろの上や周囲に可燃物が置かれていて、火災事故に至る危険性があります。



一口こまろ(前面操作) ※写真は富士工業製



ブランド表示はHITACHIまたは、SUNWAVE  
一口こまろ(上面操作)



複数口こまろ(前面操作のみ)

長期間使用されない場合は、コンセントから電源プラグを抜いてください。



対象製品 スイッチ部外観例

つまみが飛び出している電気こまろが対象です。



改修済み製品 スイッチ部外観例

周りにガードのあるつまみは改修済みです。引き続きご使用いただけます。

## 【対象製品】

形式	電気こまろメーカー(現社名)	電気こまろ品番
前面操作一口電気こまろ※1	サンウエーブ工業	SBE-101-100V, SBE-101-200V, FHS-31A, FHS-31B
	東芝ライフスタイル (旧東芝電気工業株式会社)	BHP-111, BHP-121
	パナソニック アプライアンス社 (旧パナソニック株式会社)	NK-1101, NK-1102, NK-2101, NK-2102
	日立アプライアンス	HT-1250, HT-1550, HT-1250T
	ハウステック (旧日立電機株式会社)	HK-1102, HK-2102, HT-1250C
	富士工業	FH-31A, FH-31B (品番表記がなく、100V, 200Vのみを表示している製品もあります。)
上面操作一口電気こまろ※1	サンウエーブ工業	CR-1201, CR-1201A, CR-1202, CR-1501, CR-1501A, CR-1501B
	日立アプライアンス	HT-1290, HT-1290T, HT-1500
複数口電気こまろ※2	サンウエーブ工業	SBE-2G, SBE-3G, SBE-3T
	東芝ライフスタイル (旧東芝電気工業株式会社)	HP-2000, HP-2000J, HP-2000T, HP-3000, UHP-S36A, UHP-S36AT, BHP-361T, BHP-365, BHP-461, BHP-461N, BHP-461W
	パナソニック アプライアンス社 (旧パナソニック株式会社)	NK-2220, NK-2251, NK-2252, NK-2308, HNT-2200 (※3), NK-2201, NK-2203, NK-2203, NK-2301, NK-2302, NK-2303, NK-2204, NK-2204CM, NK-2204M, NK-2304, NK-2305, NK-2307
	日立アプライアンス	HT-3000G, HT-3010G, HT-3310, HT-3510, HT-3511A, HT-4510, HT-D3451, HT-D4451, HT-D4451SS
	富士工業	FH-62, FH-621, FH-63, NSH-621, SBA-201, SBA-211, SBA-211A, SBA-301, SBA-311, SBA-311L

※1. 小形キッチンユニット(冷蔵庫付きタイプ・扉仕様タイプ等もあります)に組み込まれています ※2. 据置き型・ビルトイン型があります ※3. ブランド名はHFC

上記電気こまろは、下記協議会加盟キッチンユニットメーカー他のキッチンまたはキッチンテーブル等に組み込まれている場合があります。

【小形キッチンユニット用電気こまろ協議会加盟キッチンユニットメーカー(五十音順)】

クリナップ株式会社、三協立山株式会社、タカラスタンダード株式会社、パナソニック株式会社 エコソリューションズ社

## 【小形キッチンユニット用電気こまろ協議会加盟会社名・お問い合わせ先(五十音順)】

誠に申し訳ありませんが電気こまろのスイッチを無償で改修いたしますので、下記フリーダイヤルへご連絡ください。

クリナップ株式会社 0120-126-174 <a href="http://cleanup.jp/">http://cleanup.jp/</a>	三協立山株式会社 (旧社名 三協立山アルミ株式会社) 0120-202-436 <a href="http://www.st-grp.co.jp/">http://www.st-grp.co.jp/</a>	タカラスタンダード株式会社 0120-200-805 <a href="http://www.takara-standard.co.jp/">http://www.takara-standard.co.jp/</a>
東芝ライフスタイル株式会社 (旧東芝電気工業株式会社) 0120-668-401 <a href="http://www.toshiba.co.jp/tha/">http://www.toshiba.co.jp/tha/</a>	株式会社ハウステック (旧日立電機株式会社) 0120-524-852 <a href="http://www.housetec.co.jp/">http://www.housetec.co.jp/</a>	パナソニック株式会社 アプライアンス社 (旧パナソニック株式会社) 0120-391-391 <a href="http://panasonic.co.jp/">http://panasonic.co.jp/</a>
パナソニック株式会社 エコソリューションズ社 (旧パナソニック株式会社) 0120-116-484 <a href="http://panasonic-denko.co.jp/">http://panasonic-denko.co.jp/</a>	日立アプライアンス株式会社 0120-256-557 <a href="http://www.hitachi-ap.co.jp/">http://www.hitachi-ap.co.jp/</a>	富士工業株式会社 0120-500-621 <a href="http://www.fjic.co.jp/">http://www.fjic.co.jp/</a>
三菱電機株式会社 0120-099-506 <a href="http://www.mitsubishielectric.co.jp/">http://www.mitsubishielectric.co.jp/</a>	株式会社 LIXIL (旧社名 サンウエーブ工業株式会社) 0120-190-530 <a href="http://www.sunwave.co.jp/">http://www.sunwave.co.jp/</a>	

フリーダイヤル受付時間 9:00~17:00 (土、日、祝日を除く)

お客様からご提供いただきました氏名・住所・電話番号などの個人情報は、当該製品の点検と改修目的以外には使用いたしません。

小形キッチンユニット用電気こまろ協議会 0120-355-915 メールアドレス [dkk.jimu@denki-konro.jp](mailto:dkk.jimu@denki-konro.jp)

<http://www.denki-konro.jp/>



総務省消防庁・東京消防庁・経済産業省の各ホームページにも掲載され、注意喚起並びに改修を促進しています。

総務省消防庁 <http://www.fdma.go.jp/html/data/tuchi1908/pdf/190824yo307.pdf>

東京消防庁 <http://www.tfd.metro.tokyo.jp/life/topics/200910/kitchen.html>

経済産業省 [http://www.meti.go.jp/product\\_safety/recall/file/chuui\\_kanki/denkikonro.htm](http://www.meti.go.jp/product_safety/recall/file/chuui_kanki/denkikonro.htm)

(2) ユアサプライムス株式会社が輸入した電気ストーブ（カーボンヒーター）について  
(管理番号：A201800109)

① 事故事象について

ユアサプライムス株式会社（法人番号：6010001059673）が輸入した電気ストーブ（カーボンヒーター）を使用中、当該製品を焼損する火災が発生しました。

当該事故の原因は、現在、調査中ですが、当該製品の強弱切替え用に使用されているダイオードが不良品であったことにより、ダイオードが異常発熱し、出火したものと考えられます。

② 再発防止策について

同社は、当該製品を含む対象製品（下記③）について、事故の再発防止を図るため、2016年（平成28年）3月19日にウェブサイトへの情報掲載及び新聞社告を行うとともに、同日以降、販売店等への協力要請を行い、対象製品について無償点検及び修理を実施しています。

③ 対象製品：製品名、型番、販売期間、対象台数

製品名	型番※	販売期間	対象台数
電気ストーブ (カーボンヒーター)	YA-C945SR (WH)	2015年9月29日 ～	18,940
	KYA-C915R (WH)	2016年2月20日	
	YA-C900S (WH)		

※YA-C945SR (WH) 及びKYA-C915R (WH) はリモコンタイプ  
YA-C900S (WH) はメカタイプ

2016年（平成28年）3月19日からリコール（無償点検・修理）を実施  
改修率：29.1%（2018年6月1日時点）

<リコール対象製品での事故件数>

当該事故（管理番号：A201800109）発生以前の、対象製品におけるリコール対象の内容による2010年度以降の事故（原因調査中でリコール同事象と考えられるもの及びリコール事象かどうか不明なもの、並びにリコール開始の契機となった事故を含む。）の件数は、次のとおりです。これらは、消費生活用製品安全法第35条第1項の規定に基づき報告を受けたものです。

年度	事故件数	被害状況	年度	事故件数	被害状況
2018年度	1	火災	2013年度	—	—
2017年度	8	火災	2012年度	—	—
2016年度	6	火災	2011年度	—	—
2015年度	1	火災	2010年度	—	—
2014年度	—	—			

＜対象製品の外観及び確認方法＞

本体正面に表示されている型番を御確認ください。

リモコンタイプ



型番  
YA-C945SR (WH)  
KYA-C915R (WH)

いずれかの型番が記載

型番  
YA-C900S (WH)

メカタイプ



強弱切替え用  
のつまみあり

④使用者への注意喚起

対象製品をお持ちで、まだ事業者の行う無償点検及び修理を受けていない方は、直ちに使用を中止し、速やかに下記問合せ先まで御連絡ください。

【問合せ先】

ユアサプライムス株式会社 修理回収窓口

電話 番号：0120-801-798

受付 時間：9時～17時30分（土・日・祝日を除く。）

ウェブサイト：<http://www.yuasa-p.co.jp/wp/wp-content/uploads/2016/03/20170321.pdf>

【本発表資料の問合せ先】

消費者庁消費者安全課（製品事故情報担当）

担 当：柳川、牧野

電 話：03-3507-9204（直通）

F A X：03-3507-9290

経済産業省産業保安グループ製品安全課製品事故対策室

担 当：橋爪、高橋

電 話：03-3501-1707（直通）

F A X：03-3501-2805

1. ガス機器・石油機器に関する事故(製品起因か否かが特定できていない事故を含む。)

管理番号	事故発生日	報告受理日	製品名	機種・型式	事業者名	被害状況	事故内容	事故発生日道府県	備考
A201800106	平成30年5月20日	平成30年6月1日	ガス栓(LPガス用)	F292B-12(推定)	株式会社藤井合金製作所	火災	当該製品に接続していたガスこんろを使用中、当該製品を焼損する火災が発生した。現在、原因を調査中。	北海道	製造から30年以上経過した製品 平成30年5月22日に経済産業省産業保安グループにて公表済 平成30年5月31日に消費者安全法の重大事故等として公表済
A201800108	平成30年5月25日	平成30年6月1日	ガスこんろ(都市ガス用)	IC-S37FA	株式会社パロマ	火災	当該製品を使用中、当該製品を焼損する火災が発生した。当該製品の使用状況を含め、現在、原因を調査中。	大阪府	

2. ガス機器・石油機器以外の製品に関する事故であって、製品起因が疑われる事故

管理番号	事故発生日	報告受理日	製品名	機種・型式	事業者名	被害状況	事故内容	事故発生日道府県	備考
A201700233	平成29年6月27日	平成29年7月24日	シュレッダー	4310MU-AT	株式会社明光商会	火災 軽傷1名	学校で当該製品にエアゾールスプレーを吹き付けたところ、爆発を伴う火災が発生し、1名が負傷した。 調査の結果、当該製品に使用者がスプレー缶(エアダスター)を噴射したため、含まれていた可燃性ガス(ジメチルエーテル)が当該製品内部に滞留し、スイッチ等の電装部の火花が可燃性ガスに引火し、爆発したものと推定される。 なお、当該製品に可燃性ガスを含むスプレー類の使用に関する注意表示がなかったことも事故発生に影響したものと考えられる。	群馬県	平成29年7月28日にガス機器・石油機器以外の製品に関する事故であって、製品起因か否かが特定できていない事故として公表していたもの
A201800102	平成30年5月18日	平成30年5月31日	電気こんろ	FH-31B(組み込み先のキッチンメーカーは不明)	富士工業株式会社	火災	事務所で当該製品の上に置いていた可燃物及び周辺を焼損する火災が発生した。 事故の原因は、現在、調査中であるが、身体等が当該製品のつまみに触れてスイッチが入り、当該製品の上に置かれていた可燃物などが燃えたものと考えられる。	東京都	製造から20年以上経過した製品 平成19年7月3日から事業者が共同してリコールを実施(特記事項を参照) 改修率:96.6%(一口電気こんろ合計)



2. ガス機器・石油機器以外の製品に関する事故であって、製品起因が疑われる事故(続き)

管理番号	事故発生日	報告受理日	製品名	機種・型式	事業者名	被害状況	事故内容	事故発生都道府県	備考
A201800104	平成30年5月17日	平成30年5月31日	エアコン(室外機)	SAP-C404WR2	三洋電機株式会社	火災	公的施設で当該製品を使用中、当該製品を焼損する火災が発生した。現在、原因を調査中。	沖縄県	製造から20年以上経過した製品
A201800107	平成30年5月16日	平成30年6月1日	電気掃除機(充電式)	ESC-7DCKS	アイリスオーヤマ株式会社 (輸入事業者)	火災	当該製品を使用中、当該製品及び周辺を焼損する火災が発生した。現在、原因を調査中。	東京都	
A201800109	平成30年5月5日	平成30年6月1日	電気ストーブ(カーボンヒーター)	YA-C945SR	ユアサプライムス株式会社 (輸入事業者)	火災	当該製品を延長コードに接続して使用中、当該製品を焼損する火災が発生した。事故の原因は、現在、調査中であるが、当該製品の強弱切替え用に使用されているダイオードが不良品であったことにより、ダイオードが異常発熱し、出火したものと考えられる。	宮崎県	事業者が重大製品事故として認識したのは平成30年5月23日 平成28年3月19日からリコールを実施(特記事項を参照) 改修率:29.1%
A201800110	平成30年5月1日	平成30年6月1日	照明器具	RP7003	日立照明株式会社 (現 日立アプライアンス株式会社)	火災	当該製品及び周辺を焼損する火災が発生した。現在、原因を調査中。	神奈川県	製造から30年以上経過した製品 平成30年5月17日に消費者安全法の重大事故等として公表済 事業者が重大製品事故として認識したのは平成30年5月25日

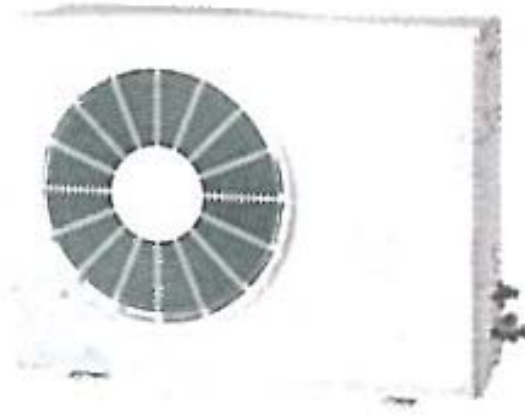
### 3. ガス機器・石油機器以外の製品に関する事故であって、製品起因か否かが特定できていない事故

管理番号	事故発生日	報告受理日	製品名	被害状況	事故内容	事故発生日都道府県	備考
A201800103	平成30年3月21日	平成30年5月31日	リチウム電池内蔵充電器	火災	当該製品及び周辺を焼損する火災が発生した。当該製品に起因するののか、他の要因も含め、現在、原因を調査中。	東京都	事業者が重大製品事故として認識したのは平成30年4月2日 報告書の提出期限を超過していることから、事業者に対し 厳重注意
A201800105	平成30年5月28日	平成30年6月1日	リチウム電池内蔵充電器	火災	当該製品を充電中、当該製品及び周辺を焼損する火災が発生した。当該製品から出火したのか、他の要因も含め、現在、原因を調査中。	北海道	
A201800111	平成30年5月2日	平成30年6月1日	配線器具(コードリール)	火災	学校で当該製品及び周辺を焼損する火災が発生した。当該製品から出火したのか、他の要因も含め、現在、原因を調査中。	福岡県	製造から25年以上経過した製品 事業者が重大製品事故として認識したのは平成30年5月21日 報告書の提出期限を超過していることから、事業者に対し 厳重注意
A201800112	平成30年4月25日	平成30年6月1日	投げ込み式湯沸器	火災	当該製品を使用中、当該製品及び周辺を焼損する火災が発生した。当該製品の使用状況を含め、現在、原因を調査中。	大阪府	事業者が重大製品事故として認識したのは平成30年5月24日

### 4. 製品起因による事故ではないと考えられ、今後、製品事故調査判定合同会議において審議を予定している案件

該当案件なし

エアコン（室外機）（管理番号:A201800104）



電気掃除機（充電式）（管理番号:A201800107）



照明器具 (管理番号:A201800110)

